



お申込みは
こちら

専門職大学院における 教育と研究の好循環を考える

2026年10月20日（火） 17:00～19:35

開会挨拶 17:00～17:05

公益財団法人大学基準協会 事務局長 田代 守

基調講演 1 17:05～17:30

「国際認証がもたらす教授法・学修評価・ガバナンスの変容
—日本のビジネススクールの事例から—」

金沢星稜大学教授、名古屋商科大学シニアリサーチャー 伊藤 博

—質疑応答 17:30～17:40—

基調講演 2 17:40～18:05

「小樽商科大学ビジネススクールにおける
教育に資する研究活動の取組み」

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授 籾本智之

各経営系専門職大学院の研究活動に関する取組みの紹介

18:05～18:10

公益財団法人大学基準協会事務局

—質疑応答・休憩 18:10～18:35—

パネルディスカッション 18:35～19:30

教育内容の充実に資する研究活動を進めるにあたっての課題
や施策を考える

<モデレーター>

大学基準協会 経営系専門職大学院認証評価委員会委員長 高田 仁

<パネリスト>

大学基準協会 経営系専門職大学院認証評価委員会副委員長 真野 俊樹

金沢星稜大学教授、名古屋商科大学シニアリサーチャー 伊藤 博

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授 籾本智之

閉会挨拶 19:30～19:35

同認証評価委員会委員長 高田 仁

(敬称略)

登壇者 略歴

伊藤 博(いとう ひろし) 氏

金沢星稜大学教授及び名古屋商科大学シニアリサーチャー。コロンビア大学大学院修士課程(MA in Education)、UCLA教育大学院博士課程(Ph.D. in Education)、パリ第一大学パンテオン・ソルボンヌ校経営大学院修士課程(MBA)、名古屋大学大学院環境学研究科博士課程修了(環境学博士)。教育サービス会社(米国)、NGO(グアテマラ)、青年海外協力隊(パラグアイ、エクアドル)、UNICEF(フィリピン)、UNESCO(フランス)等を経て現職。

籾本 智之(はたもと さとし) 氏

小樽商科大学大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻教授。一橋大学大学院商学研究科会計学および経営学専攻博士課程単位修得退学。札幌学院大学商学部商学科に専任講師として教壇に立ち始め、小樽商科大学商学部商学科に助教授として、原価計算論と研究指導を学部と大学院で講義し始める。小樽商科大学のビジネススクールである大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻に移籍し、コーポレートファイナンス、コストマネジメント、アカウンティング、ケーススタディなどを講義し始める。

高田 仁(たかた めぐみ) 氏

九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻教授。九州大学卒、大手メーカーを経て九州大学大学院に進学。修士(工学)。コンサルティング会社を経て、CASTI(現東大TLO)取締役副社長。2003年、九州大学大学院経済学研究院産業マネジメント専攻(QBS)助教授。2009年、MIT客員研究員。2010年よりロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター(QREC)兼務。2014年、QBS教授。2020～2024年まで九州大学副理事。2019年からQRECセンター長。RTTP(国際認定技術移転 プロフェッショナル)。

真野 俊樹(まの としき) 氏

中央大学大学院戦略経営研究科教授。名古屋大学医学部卒業。医師、医学博士、経済学博士、MBA。臨床医を経て、95年9月コーネル大学医学部研究員。外資系製薬企業、国内製薬企業のマネジメントに携わる。同時に英国レスター大学大学院でMBA取得。その後、国立医療・病院管理研究所協力研究員、昭和大学医学部公衆衛生学(病院管理学担当)専任講師を経て、2005年6月多摩大学医療リスクマネジメント研究所教授就任、その後多摩大学大学院教授、医療・介護ソリューション研究所所長を経て現職。

ー開催趣旨ー

本協会が実施する経営系専門職大学院認証評価は、2023年度から第4期を迎えました。

第4期経営系専門職大学院基準では、研究への継続的な取り組みを促すことを求めています。海外認証においても研究活動を重視する傾向がありますが、研究重視が教育に与える影響は必ずしもポジティブなものだけではないことが研究により示唆されています。

一方、第4期の開始から3年目を迎えた現在、日本の経営系専門職大学院のなかには、教育活動と研究活動を有機的に連携させることで、教育の充実と学術研究・実務研究の発展を両立させる優れた取り組みも見られるようになりました。

そこで本企画では、研究活動の重視がもたらす影響について理解するとともに、経営系専門職大学院における「教育に資する研究活動」のグッドプラクティスを共有することで、各専門職大学院における研究活動のさらなる充実と発展について考える機会とします。

□申込受付 <https://ws.formzu.net/dist/S41470/>

□問合せ先 公益財団法人大学基準協会 評価事業部評価第2課
MAIL : keiei@juaa.or.jp

